



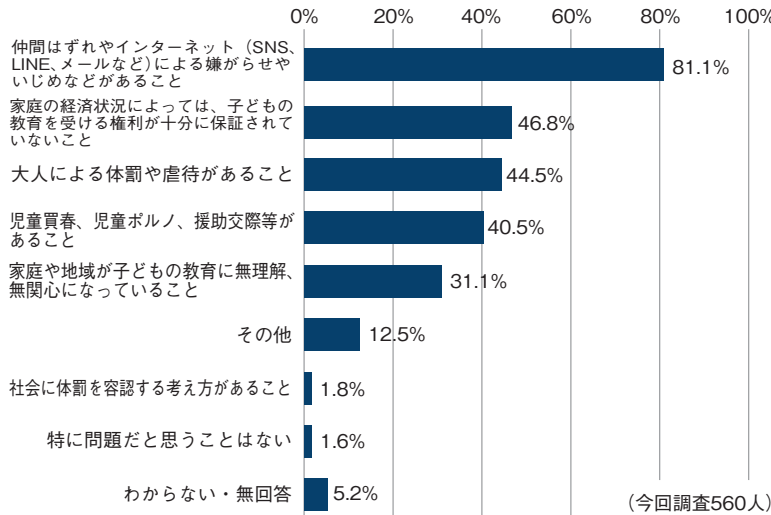
認定こども園能義の皆さん。
写真と本文は関係ありません。

地域の宝 = 人権尊重社会の実現をめざして = 子どもの人権を守ろう

最近、児童虐待で幼い命が奪われる報道が相次いでいます。厚生労働省の資料によれば、平成29年度には全国で10年前の3倍、約13万件の虐待相談が児童相談所に寄せられました。児童虐待は、子どもの人権をもっとも侵害するものです。

人権施策推進課 ☎ 23-3095

子どもの人権について、特にどのようなことが問題だと思いませんか？ 「安来市人権に関する市民意識調査」より



⇒多くの人が、子ども同士のいじめや大人からの虐待・体罰を問題だと考えています。

○虐待かもと思ったときや、子育てに悩んだときには、安来市子ども未来課 (☎ 23-3209) にご相談ください。
○全国共通 (☎ 189 番) で24時間、最寄りの児童相談所につながります。
○子どもの人権 110 番
フリーダイヤル ☎ 0120-007-110
弱い立場の子どもの権利を守れるのは、私たち大人です

今年度に取り組む主な事業
1. 力強い圏域産業の国内外への発信

- ・産学・医工連携事業は、全国や世界を相手にできる新産業の創出。
- ・インドIT等の人材の圏域内企業への就職や日印企業の業務提携等につなげるよう取り組む。
- ・新たに台北市との覚書締結を進め、多方面での交流の活性化。

『3本の柱』への発信

- ① 力強い圏域産業の国内外への発信
- ② 中海・宍道湖・大山圏域観光局による観光地域づくり
- ③ 圏域のさらなる連携と協働の実現

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海および宍道湖沿岸の5市で構成しています。発足8年目となる今年度は、次の『3本の柱』を軸にした事業を進め、圏域の強固な連携のもと、全国、そして世界を相手に、ダイナミックな取り組みを行います。

中海・宍道湖・大山圏域
市長会 通信 ⑩



▲圏域の5つの自治体の市長が集まる総会の様子。

2. 中海・宍道湖・大山圏域観光局による観光地域づくり

- ・オリ・パラ2020や大阪万博を契機に、多彩な観光素材が集中し、山陰観光のゲートウェイであるこの圏域に外国人観光客を誘客し、山陰全体に波及させる。
- ・キャッシュレス決済システム導入や二次交通の充実など、業種別連絡会(飲食・物販・宿泊・交通)を通じて取り組み、外国人観光客の満足度を高め、誘客および消費拡大を目指す。

3. 圏域のさらなる連携と協働

圏域人口を維持するため、移住・定住等の促進を図る。圏域の発展を支えるインフラ整備促進の要望活動や、交通ICカード導入調査事業などに取り組み、圏域全体のポトムアップを目指す。

問い合わせ：圏域市長会事務局 (☎ 0852・55・5056)